

2022年9月 高岡ケーブルネットワーク番組審議会

1. 開催日時 2022年9月27日(火) 午前10時
2. 場所 高岡ケーブルネットワーク2階会議室
3. 出席委員(敬称略)
 - 清都 勢憲(戸出地区未来創造異脳種会議「戸出によっといで」事務局長)
 - 後藤 亜季(高岡法科大学 講師)
 - 曾田 朝子(伏木地区ボランティアかたかごグループ 顧問)
 - 橘 智香子(高岡市 市長政策部 秘書課 広報広聴室長)
 - 野尻 晴一(高岡商工会議所青年部 直前会長)
 - 氷見 哲正(高岡市芸術文化団体協議会 会長)
 - 開 洋子(高岡熱中寺子屋 事務局長)

高岡ケーブルネットワーク出席者

山口 伸一 代表取締役社長
藤森 康志 常務取締役
田中 勇人 執行役員制作部長
岸 哲也 制作部部长代理(事務局)
小林 佑佳 サブマネージャ(制作部)

議事

1. 2022年4月～9月までの番組制作について

【事前視聴番組】

- ・高岡御車山祭中継
- ・伏木曳山祭けんか山中継
- ・Do you know エネル原人 第65回「高岡から飛び立つカワセミ原人 荒田恭兵さん」
- ・歴史都市高岡ふしぎ帖シーズン21 道は知っている編「昭和通り」
- ・技-WAZA- 仏壇塗師・京田充弘さん
- ・高岡-i 地域ニュース&話題
- ・つながるローカル「夢は英語で観光案内」

2. 今後の番組制作について

- ・万葉集全20巻朗唱の会生中継 「昼に舞台朗唱、夜は動画朗唱」で4516首をリレー
- ・富山県中学校文化祭の生中継(10/8)
- ・富山県内ケーブルテレビ9局共同制作新春番組の制作主幹
- ・河川・交通情報ライブカメラ 広小路カメラの追加

委員からの主な意見

①番組「伏木曳山祭けんか山中継」

- ・現地では見えづらいヤマがぶつかる瞬間や、ヤマに乗る人の様子などがテレビで見られるのが良い。
- ・YouTube で見たが迫力が伝わった。県外出身者には、けんか山のルールが分からなかった。祭りの歴史も番組中で教えてほしい。

②番組「歴史都市高岡ふしぎ帖」

- ・富山県公文書館を訪ねて資料を探し当てることは、新たな発見につながる。
- ・探求型の番組でありおもしろい。地域を知りたい人にもっと伝えてほしい。

③番組「Do you know エネル原人 高岡から飛び立つカワセミ原人 荒田恭兵さん」

- ・この番組は人が輝く姿、頑張っている人を紹介する使命をもっている。
- ・ハイダイビングという競技、こんなに素晴らしい人が高岡にいらっしゃることを初めて知った。
- ・「カワセミ」のネーミングがとてもおもしろい。また、コーチとして子どもたちを指導していることが分かり良かった。

④番組「技-WAZA- 仏壇塗師・京田充弘さん」

- ・ものづくりと伝統工芸の町なので、もっとたくさんの技や人を知りたい。
- ・高岡地域地場産業センターと連携して、技術をつなげる企画を検討してはどうか。
- ・何に注目して密着するかが大切。後世に残すべき企画だ。
- ・物にスポットを当て、人に焦点を当てることが必要だ。

⑤ その他

- ・娘が高岡げんきキッズに出演したいと言っている。コロナ禍で撮影が大変だろうが継続して取材をしてほしい。
- ・アナウンサーが男子児童を「くん」、女子児童を「さん」と呼んでいたが、今の時代はいずれも「さん」で統一している。気をつけてほしい。
- ・移住者や海外の方の視点で、高岡を掘り下げる番組制作してはどうか。
- ・富山大学芸術文化学部や高岡法科大学の教員や学生には県外出身者が多い。教員や学生らの高岡に対する新鮮な視点を織り交ぜた企画を検討してはどうか。
- ・ボランティア不足のため、団体の取り組みを取材して機運が高まるようにしてほしい。
- ・小中学校だけでなく、高校や大学の話題も取り上げて欲しい。
- ・子どもたちが楽しんで出演できるクイズ番組を企画してはどうか。
- ・今後閉校や開校する学校を映像で記録し残してほしい。